

令和4年度 第2回

杉並区区政モニターアンケート  
「みどりに関する意識」について

集計結果報告書



令和4年8月実施

杉並区総務部区政相談課

## 「みどりに関する意識」について

### 調査の概要

#### 1 調査の目的

杉並区では、平成22年に「杉並区みどりの基本計画」を改定し、みどり豊かなまちづくりの推進に取り組んできました。この間、地球温暖化による気候危機、持続可能な社会への取組など、みどりを取り巻く様々な環境が大きく変化したことから、令和6年度に本計画の改定を予定しています。

そこで、みどりに関する意識について、区政モニターの皆さまにアンケート調査を実施し、今後の参考とさせていただきます。

#### 2 調査期間

令和4年8月24日～9月19日

#### 3 対象者(区政モニター)

200人

#### 4 回答者数

153人(=n) 回答率 76.5%

#### 5 回答者構成

単位:人

〈年代別構成〉	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
人数	1	25	23	37	33	15	19	153
割合	0.7%	16.3%	15.0%	24.2%	21.6%	9.8%	12.4%	100%

単位:人

〈町名別構成〉	阿佐谷南	阿佐谷北	天沼	井草	和泉	今川	梅里	永福	大宮
人数	3	8	1	4	5	3	3	3	0
割合	2.0%	5.2%	0.7%	2.6%	3.3%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%

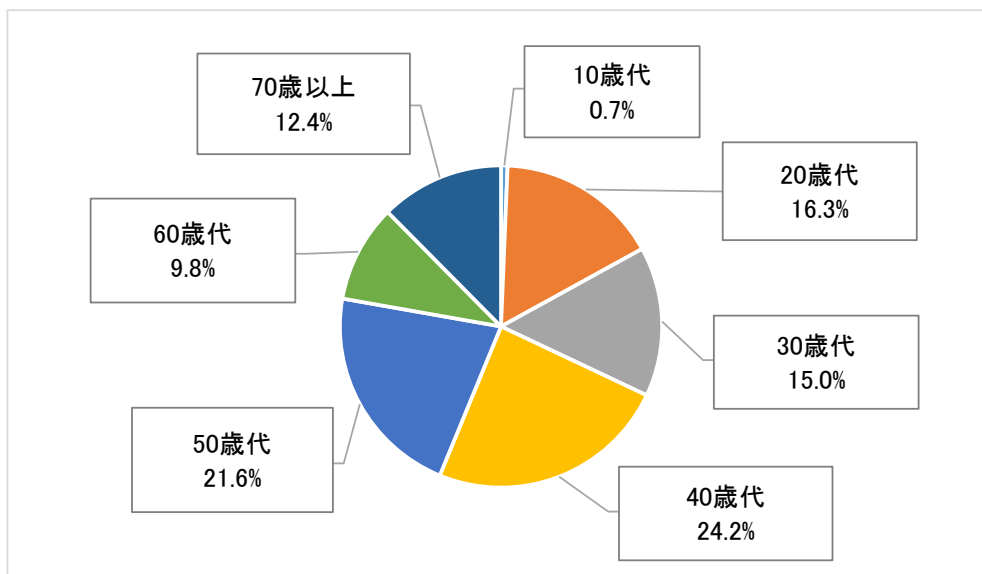
〈町名別構成〉	荻窪	上井草	上荻	上高井戸	久我山	高円寺南	高円寺北	清水	下井草
人数	12	4	5	3	4	6	1	5	5
割合	7.8%	2.6%	3.3%	2.0%	2.6%	3.9%	0.7%	3.3%	3.3%

〈町名別構成〉	下高井戸	松庵	善福寺	高井戸東	高井戸西	成田東	成田西	西荻南	西荻北
人数	6	5	1	6	6	5	11	4	5
割合	3.9%	3.3%	0.7%	3.9%	3.9%	3.3%	7.2%	2.6%	3.3%

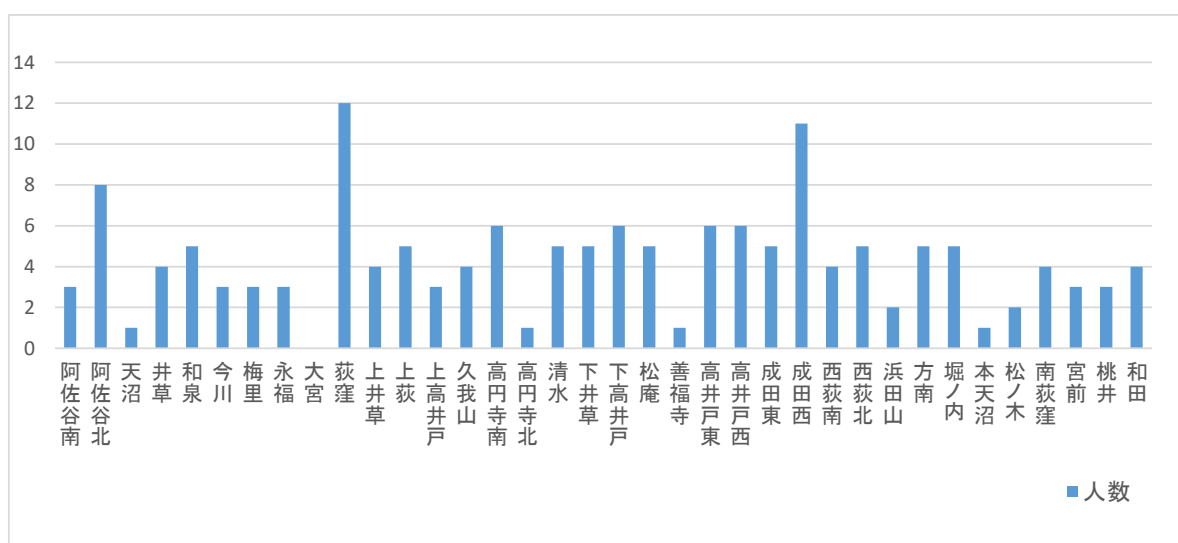
〈町名別構成〉	浜田山	方南	堀ノ内	本天沼	松ノ木	南荻窪	宮前	桃井	和田
人数	2	5	5	1	2	4	3	3	4
割合	1.3%	3.3%	3.3%	0.7%	1.3%	2.6%	2.0%	2.0%	2.6%

〈町名別構成〉	合計
人数	153
割合	100%

〈年代別構成〉



〈町名別構成〉



6 集計結果の表示について

- (1) 各項の初めにあるnは、回答者数を表しています。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆基本事項についてお聞きします。

問1 あなたの年齢をお答えください。

問2 あなたのお住まいの町名をお答えください。

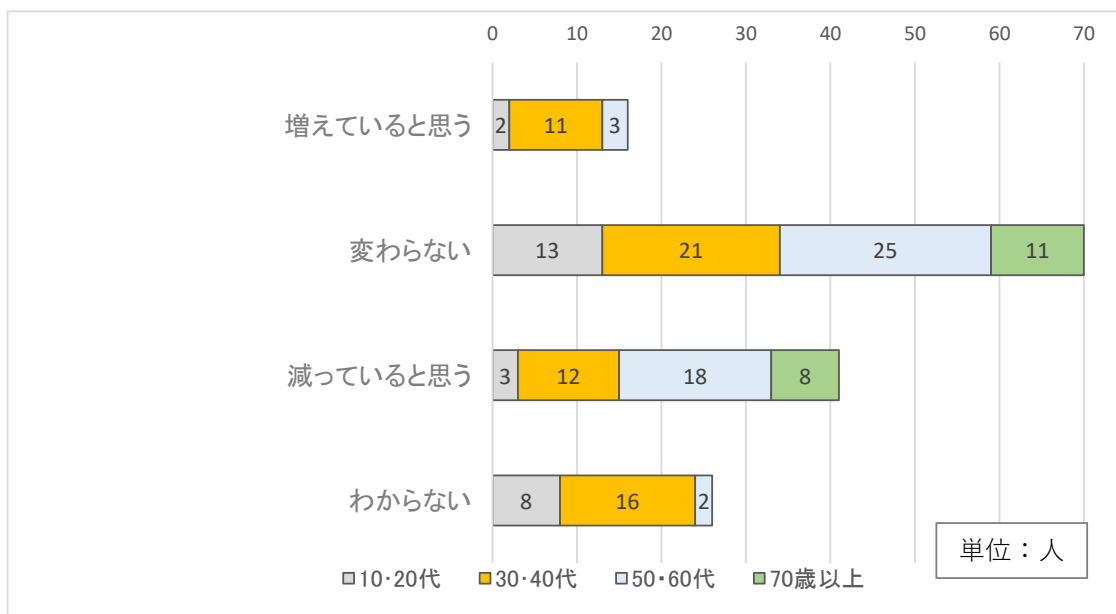
※問1～問2の結果については、左記『調査の概要「5 回答者構成」』のとおり

◇「杉並区のみどり」についてお尋ねします。

問3 あなたは、杉並区内のみどりの量は増えていると思いますか。  
(○は1つ)必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
増えていると思う	16	10.5%	2	11	3	0
変わらない	70	45.8%	13	21	25	11
減っていると思う	41	26.8%	3	12	18	8
わからない	26	17.0%	8	16	2	0
合計	153	100%	26	60	48	19



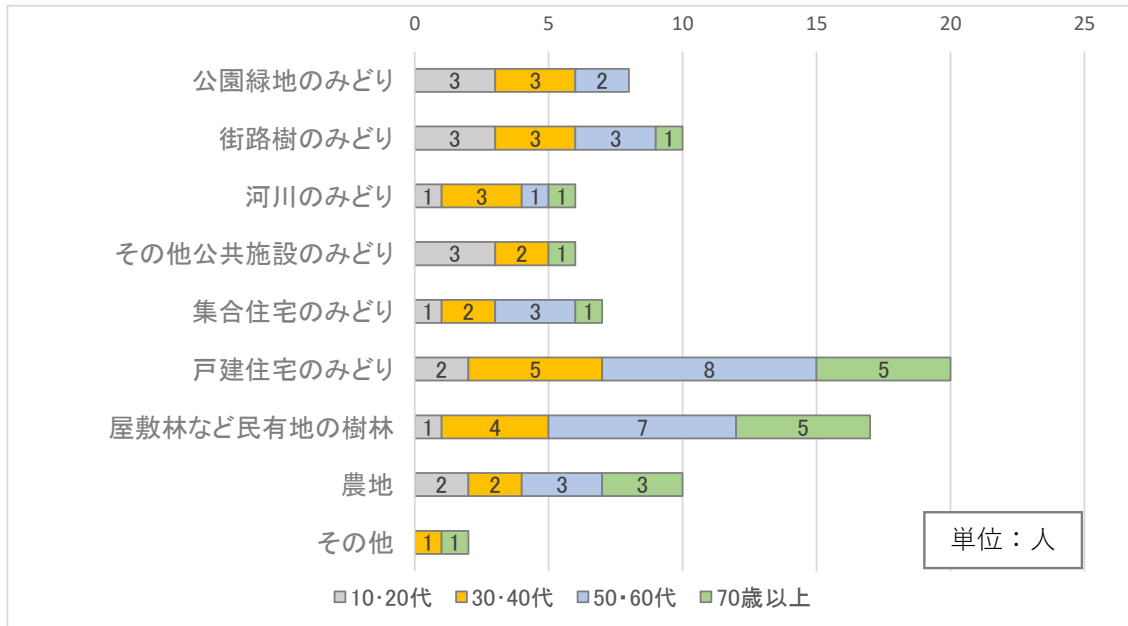
問3-1 問3で「③ 減っていると思う」と回答した方に伺います。減っていると思うものは次のどれですか。(○はいくつでも)

n= 41

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
公園緑地のみどり	8	19.5%	3	3	2	0
街路樹のみどり	10	24.4%	3	3	3	1
河川のみどり	6	14.6%	1	3	1	1
その他公共施設のみどり	6	14.6%	3	2	0	1
集合住宅のみどり	7	17.1%	1	2	3	1
戸建住宅のみどり	20	48.8%	2	5	8	5
屋敷林など民有地の樹林	17	41.5%	1	4	7	5
農地	10	24.4%	2	2	3	3
その他	2	4.9%	0	1	0	1

その他・・・

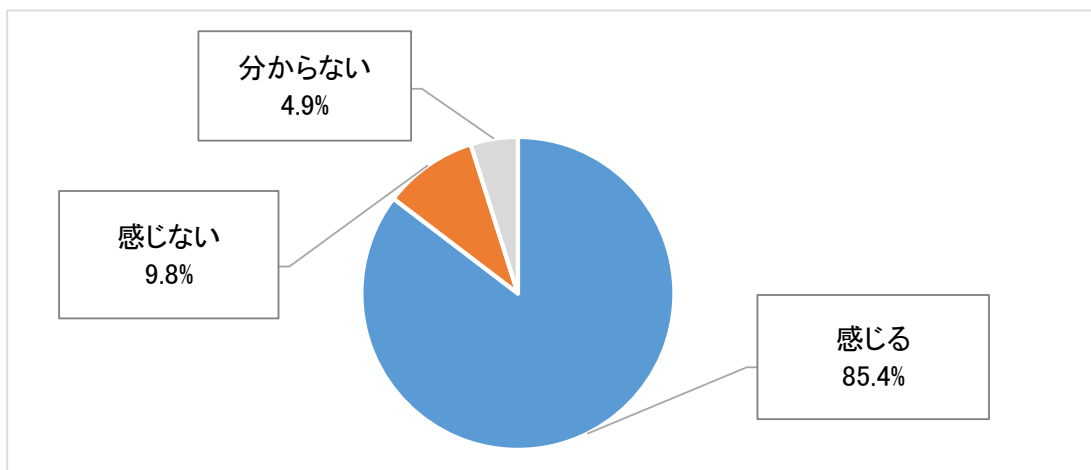
- ・生産緑地が、次々に宅地等にかわってしまった。
- ・空き地、空き建物などが有効利用されみどり量の減につながっている。
- ・公園緑地については、高井戸公園が整備されており、嬉しく感じます。一方で、農地については、高齢者施設に変わるケースがあるため。
- ・土地所有者の方の一部の土地が売却されているのか、建売住宅や有料老人ホームが建てられているのをよく目にするため。
- ・空き地、空き建物などが有効利用されみどり量の減につながっている。



問3-2 問3で「減っていると思う」と回答した方に伺います。杉並区のみどりが減少していくことに対して危機感を感じますか。(〇は1つ)

n= 41

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
感じる	35	85.4%	3	11	14	7
感じない	4	9.8%	0	0	3	1
分からない	2	4.9%	0	1	1	0
合計	41	100%	3	12	18	8



◇「杉並区のみどりの施策」についてお尋ねします。

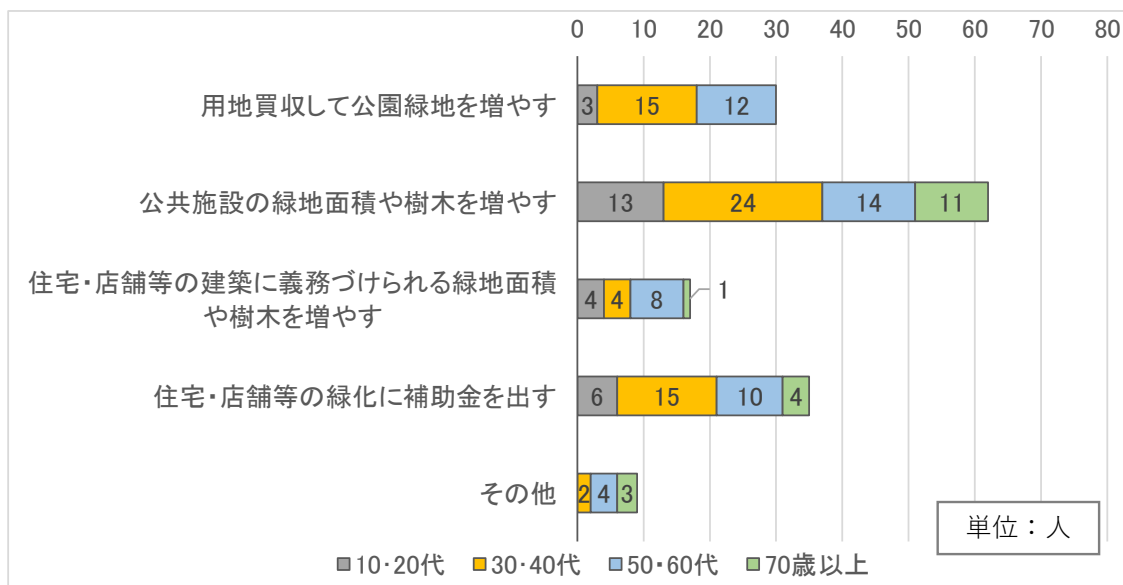
問4 みどりの量を増やすためには、どのような取組がもっとも効果があると思いますか。  
(○は1つ) 必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
用地買収して公園緑地を増やす	30	19.6%	3	15	12	0
公共施設の緑地面積や樹木を増やす	62	40.5%	13	24	14	11
住宅・店舗等の建築に義務づけられる緑地面積や樹木を増やす	17	11.1%	4	4	8	1
住宅・店舗等の緑化に補助金を出す	35	22.9%	6	15	10	4
その他	9	5.9%	0	2	4	3
合計	153	100%	26	60	48	19

その他・・・

- ・草花の種や樹木を配る。
- ・杉並区の小学生、幼稚園生に、緑に触れる授業又は活動を増やす。子供時代から少しでも緑に触れる生活を経験する機会が増えると、自然の大切さを理解できるようになると思う。学校や幼稚園での草木を育てる経験(子供が自然に触れさせる機会をふやす。私は、父親の庭木の手入れを手伝って育ちました。今では、自然と木の剪定を行なって、散歩をしても家々の樹木に癒されております。先生方のご負担のない範囲で、草木に触れる経験を増やす。
- ・生産緑地の対応とともに増加傾向の空き家を緑ある新規住宅や高齢者住宅に転用促進し、公園なども計画的に配置するといったゴーストタウンにならぬような活きたまちづくりをこの緑化問題とともに中長期的に検討していく。
- ・体験農園や市民参加の農園敷地と、農園敷地内の植林を増やす。
- ・建物壁面や屋上の緑化に補助金。
- ・樹木の無料配布。
- ・建物屋上や、ビルの側面(ベランダ・バルコニー)等も小スペースでも工夫しての緑化が有効。
- ・みどりを増やすにも住宅や店舗では管理や維持の費用もかかるので維持費補助や減税等を行う。
- ・空き家を買収して、緑地化。



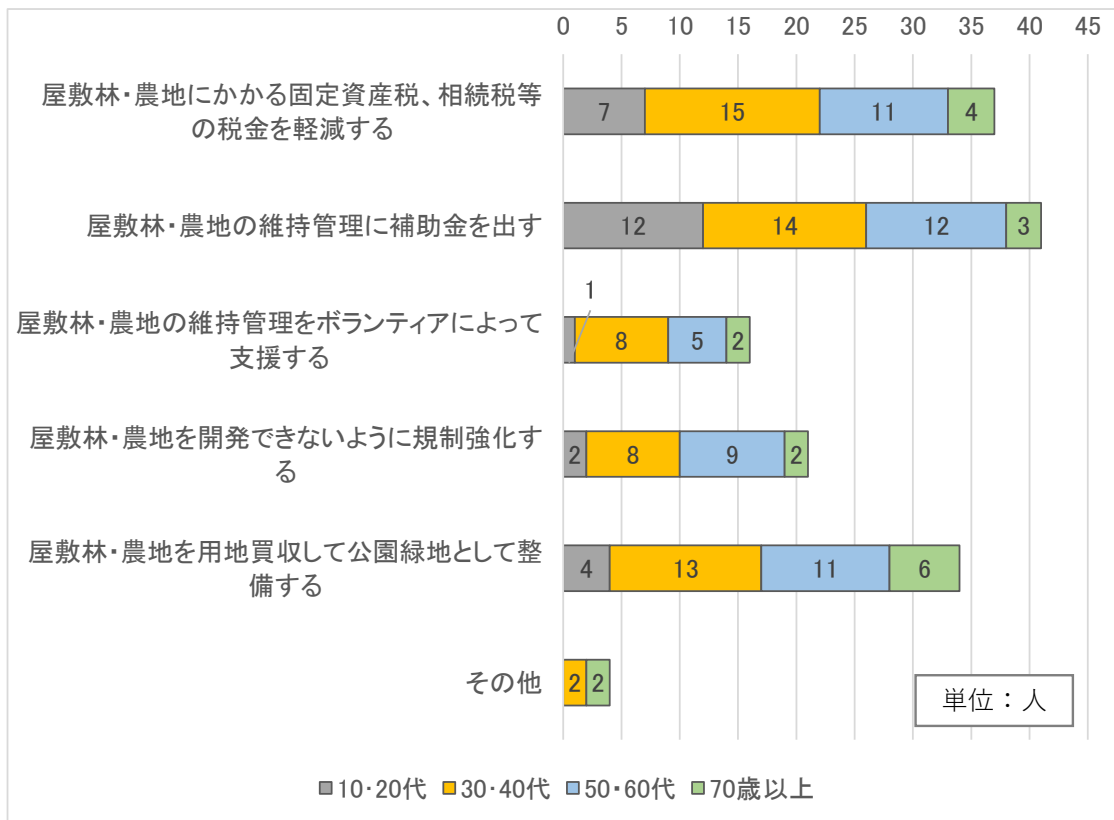
問5 杉並区では重点的に守るべきみどりを、杉並の原風景の核となる屋敷林と農地としています。屋敷林・農地を守る取組としてもっとも効果があるものはどれだと思えますか。  
(○は1つ) 必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
屋敷林・農地にかかる固定資産税、相続税等の税金を軽減する	37	24.2%	7	15	11	4
屋敷林・農地の維持管理に補助金を出す	41	26.8%	12	14	12	3
屋敷林・農地の維持管理をボランティアによって支援する	16	10.5%	1	8	5	2
屋敷林・農地を開発できないように規制強化する	21	13.7%	2	8	9	2
屋敷林・農地を用地買収して公園緑地として整備する	34	22.2%	4	13	11	6
その他	4	2.6%	0	2	0	2
合計	153	100%	26	60	48	19

その他・・・

- ・屋敷林については一般の人が立ち入れない区域、または塀で覆われているため一般の人がメリットを授受できることが限られているので、その所有者を優遇することには反対。一般公開など区民にもメリットがあれば、ボランティア支援が良いと思う。
- ・病院・小学校移転に関連しての歴史ある樹木伐採が大規模に行われている。区内での核となる病院施設(これに係る救急車の搬入経路及び駐車場・駐輪場等々)の整備の重要性はわかるが、樹木の伐採の行なわれている現状からすると緑への配慮がもっとあって良かったのではないかと。
- ・屋敷林・農地を守る取組。
- ・相続の際等売却される場合が多いので、区が優先的に用地買収できるようにして、公園緑地として整備する。
- ・屋敷林・農地にかかる税制優遇や補助金の設立は、既に莫大な富を得ている一部の地主への優遇に繋がり格差を助長するため反対です。屋敷林・農地を保存する場合は、区が買収して区民に開かれた公共スペースにする。

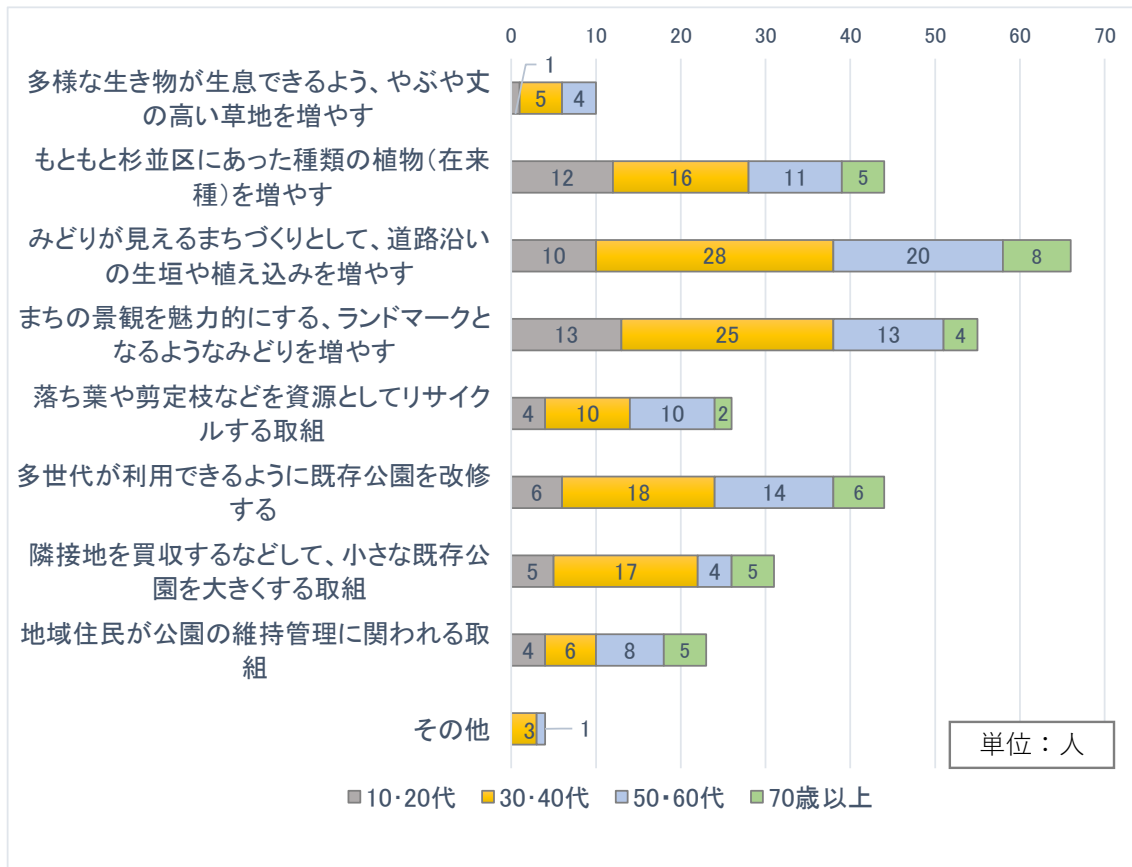


問6 杉並区ではみどりの量を増やすこととあわせて、みどりの質を高める取組も進めています。あなたにとって、みどりの質を高める取組とは何ですか。(〇は2つ) 必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
多様な生き物が生息できるよう、やぶや丈の高い草地を増やす	10	6.5%	1	5	4	0
もともと杉並区にあった種類の植物(在来種)を増やす	44	28.8%	12	16	11	5
みどりが見えるまちづくりとして、道路沿いの生垣や植え込みを増やす	66	43.1%	10	28	20	8
まちの景観を魅力的にする、ランドマークとなるようなみどりを増やす	55	35.9%	13	25	13	4
落ち葉や剪定枝などを資源としてリサイクルする取組	26	17.0%	4	10	10	2
多世代が利用できるように既存公園を改修する	44	28.8%	6	18	14	6
隣接地を買収するなどして、小さな既存公園を大きくする取組	31	20.3%	5	17	4	5
地域住民が公園の維持管理に関われる取組	23	15.0%	4	6	8	5
その他	4	2.6%	0	3	1	0

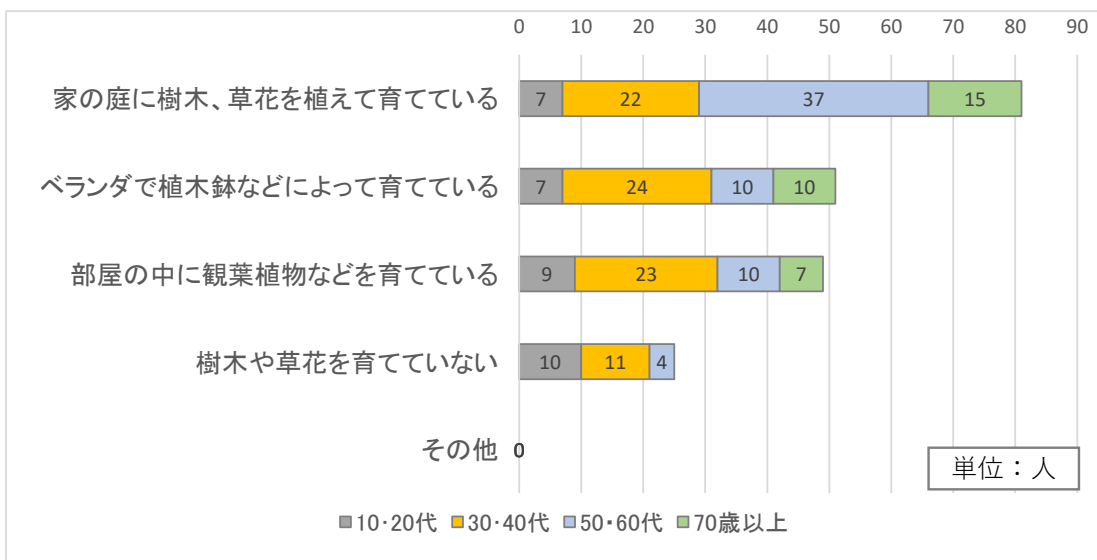




問7 あなたの家では樹木や草花などを育てていますか。(〇はいくつでも) 必須

n= 153

	全体	10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
家の庭に樹木、草花を植えて育てている	81 52.9%	7	22	37	15
ベランダで植木鉢などによって育てている	51 33.3%	7	24	10	10
部屋の中に観葉植物などを育てている	49 32.0%	9	23	10	7
樹木や草花を育てていない	25 16.3%	10	11	4	0
その他	0 0.0%	0	0	0	0



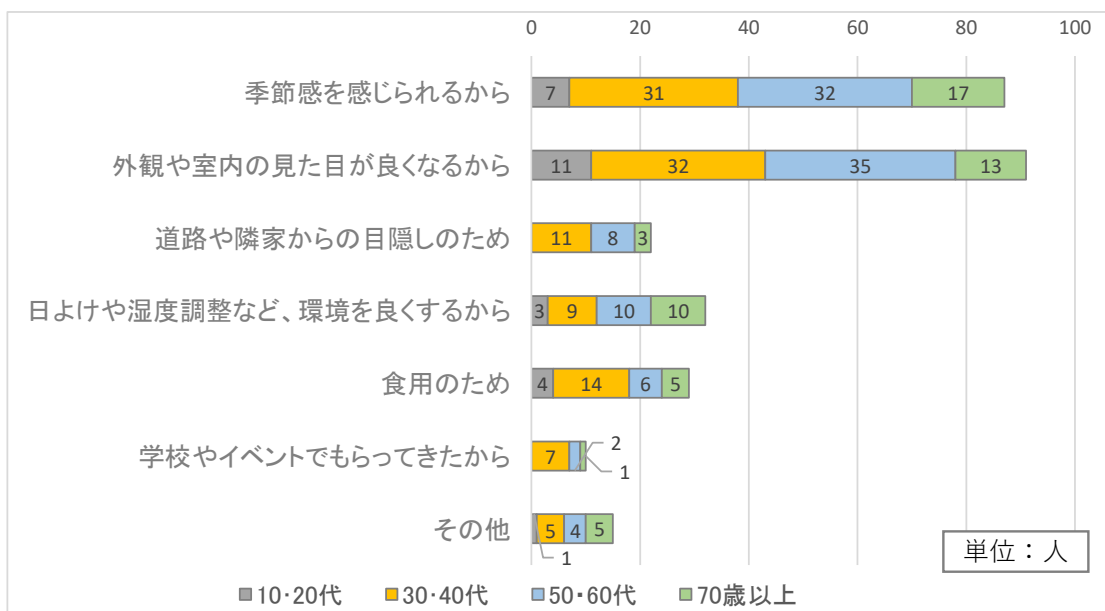
問7-2 問7で樹木や草花を育てていると回答した方に伺います。樹木や草花を育てている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n= 128

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
季節感を感じられるから	87	68.0%	7	31	32	17
外観や室内の見た目が良くなるから	91	71.1%	11	32	35	13
道路や隣家からの目隠しのため	22	17.2%	0	11	8	3
日よけや湿度調整など、環境を良くするから	32	25.0%	3	9	10	10
食用のため	29	22.7%	4	14	6	5
学校やイベントでもらってきたから	10	7.8%	0	7	2	1
その他	15	11.7%	1	5	4	5

その他・・・

- ・植物を育てることが好きだから。
- ・草花を育て、花が咲いたりしたときに、とても癒されるため。
- ・趣味として。
- ・我々と同じように、樹木や草花など植物もこの世界で生きている。同じ命を持っているものを大切にしたいから。また、緑を見ると気分が落ち着いてくるから。
- ・家の造りと庭の樹木、それらと季節との釣り合いが文化とを感じるから。
- ・夫が観葉植物が好きだから
- ・家族が熱心に手入れをしているので、その恩恵を受けています。
- ・季節の花や植物が好きですし、その周りに虫や爬虫類がみられるのが楽しいです。ほどほどに管理するのが好きです。
- ・観葉植物
- ・子どもの情操教育のため。
- ・癒されるから。
- ・子どもに植物を育てるのを教えるため。
- ・自然と四季を感じる。彩を楽しむ。
- ・気分が落ち着くから。
- ・一軒家を建てる時に緑化の指示があったので。
- ・子どもや若世代に緑化の良さ、多様な生き物との共存などを共感して、育て守ることを感じてもらえること、生活そのものに潤いを感じる。



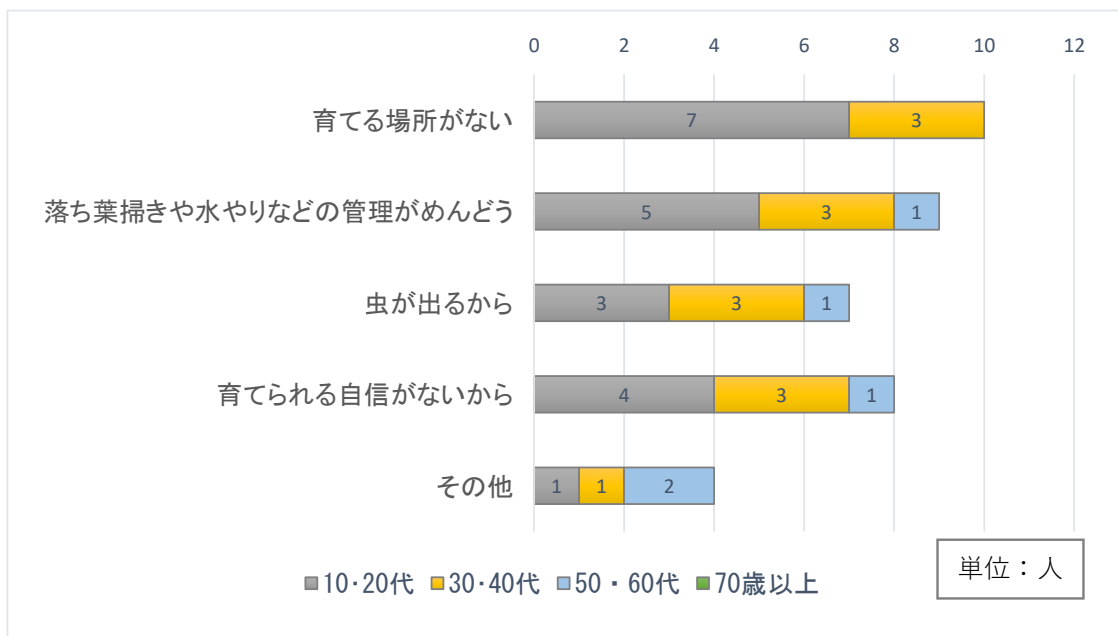
問7-3 問7で「樹木や草花を育てていない」と回答した方に伺います。樹木や草花を育てていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n= 25

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合				
育てる場所がない	10	40.0%	7	3	0	0
落ち葉掃きや水やりなどの管理がめんどろ	9	36.0%	5	3	1	0
虫が出るから	7	28.0%	3	3	1	0
育てられる自信がないから	8	32.0%	4	3	1	0
その他	4	16.0%	1	1	2	0

その他・・・

- ・日当たりが悪く、植物が基本育たないから。
- ・所有地や管理地には雑草対策のために除草剤を撒いています。
- ・マンションの敷地内に十分な樹木、草花があるため。
- ・花束さえすぐ枯らしてしまいます。何度か置いたり、パキラを購入したりしましたが悲しいほどダメにしてみました。

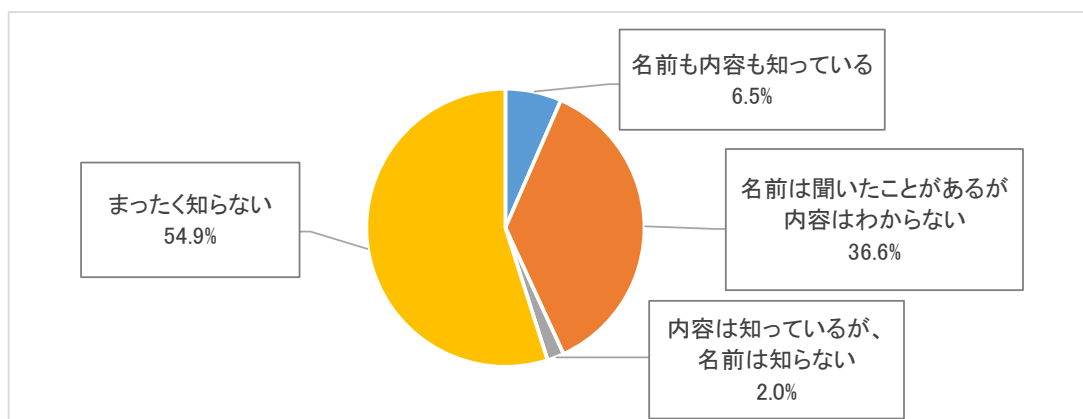


問8 杉並区では、みどり豊かなまちを実現するため「杉並区みどりの基本計画」を策定していますが、計画について当てはまるものはどれですか。

(○は1つ) 必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
名前も内容も知っている	10	6.5%	1	3	1	5
名前は聞いたことがあるが内容はわからない	56	36.6%	4	21	19	12
内容は知っているが、名前は知らない	3	2.0%	1	1	1	0
まったく知らない	84	54.9%	20	35	27	2
合計	153	100%	26	60	48	19

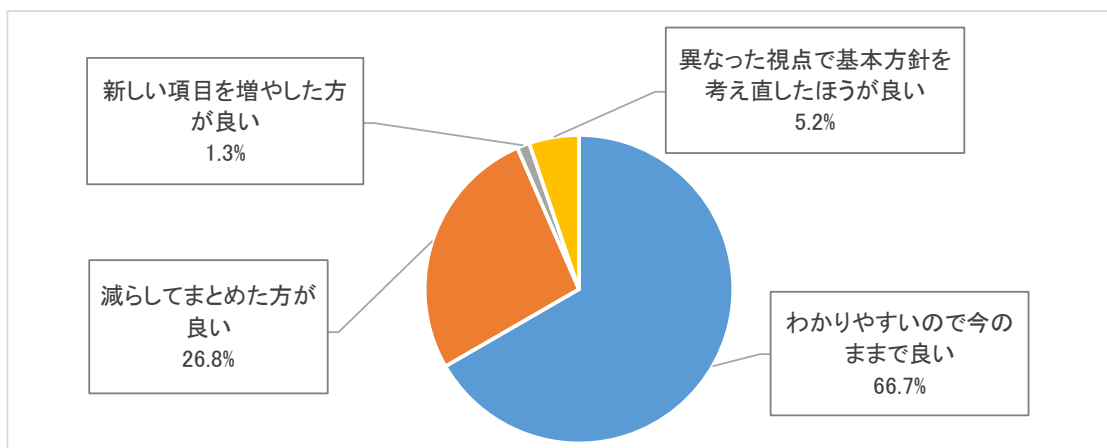


問9 現計画では「身近なみどりを守ろう」、「新しいみどりを創ろう」、「みどりの質を高めよう」、「みどりでまちをつなげよう」、「みんなでみどりを育てよう」の5つの基本方針を掲げています。次回改定に向けて基本方針はどのようにすべきだと思いますか。

(○は1つ) 必須

n= 153

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
わかりやすいので今のままで良い	102	66.7%	19	41	30	12
減らしてまとめた方が良い	41	26.8%	7	18	13	3
新しい項目を増やした方が良い	2	1.3%	0	1	1	0
異なった視点で基本方針を考え直したほうが良い	8	5.2%	0	0	4	4
合計	153	100%	26	60	48	19



問9-1 問9で「減らしてまとめた方が良い」「新しい項目を増やした方が良い」「異なった視点で基本方針を考え直したほうが良い」と回答した方に伺います。あなたは、どのように基本方針を変えた方がよいと思いますか。具体的にお書きください。

#### 【基本方針をまとめる提案】

- ・もっと簡単にわかりやすくまとめた方がいい。
- ・「みどりでまちをつなげよう」について、他のまちと杉並をつなげることなのか、杉並の中でのまちをつなげることなのか、まちの人同士をつなげようということなのか、分かりづらいのでなくしてまとめてもいいかなと思いました。
- ・5つの項目は多すぎるので合言葉的な感じで子供から年配の方々に親しみやすいものにしたら良いと思います。
- ・標語は絞って、そのために我々が何をするのか、活動の啓発や取り組みの周知などに注力してもらいたい。
- ・いくつも方針があると、内容が薄く感じる。もう少し絞って、長期間持続できるようにする方が良い気がする。

#### 【1つの基本方針の提案】

- ・シンプルに1つとし、どういう状態を目指したいのかを表現するのがよいと思います。
- ・自然と共生する杉並区
- ・緑豊かな杉並区にしよう。
- ・みどりをつくろう、そだてよう。
- ・基本方針はシンプルで具体的な表現がよいと考えます。区からの視点としてのメッセージでもよいと思います。「みどりを育てるみなさんを応援します」のような。
- ・みんなでみどりを育てようのみでいいと思います。その他4項目はその下位項目でいいと思います。
- ・忙しい働き世代の方達には、短いキャッチフレーズのような言葉にしか興味を持たない気がいたします。五つある基本方針はとてもいいと思います。しかしながら、「緑を守ろう！育てよう！」のような、わかりやすい言葉で十分全ての基本方針を含んでいると思います。是非、わかりやすいスローガンを短く掲げていただいて、副題で、五つの基本方針を示すような計画にしていただけたらと思います。駅や、区役所、学校にこのポスターを貼って欲しいです。

#### 【2つの基本方針の提案】

- ・基本方針は変えず、標榜するテーマを2つくらいにしぼり、わかりやすくしたほうがよいのではないかと思います。
- ・「身近なみどりを守ろう」「みんなでみどりを育てよう」  
5つの計画でどれだけ成果があったのかわかりませんが、減らすか変えるかの選択で考え、現計画を減らしたほうがいいのかと思いました。  
杉並は他の区より自然は大切にしていると思います。  
この二つでいいのかなと思います。
- ・基本方針は「みどりを守ろう」「みどりを創ろう」にする。  
現在の他の3基本方針などはその取り組みとして整理する。
- ・基本方針が5つもあると、どれから取り組めるか考えてしまうので、誰もがすんなり受け入れられる短いフレーズに変えた方がいいと思う。「みどりでまちをつなげよう」、「みんなでみどりを育てよう」この2フレーズくらいがいいです。
- ・風土のみどりの歴史を継承する観点と、これからの私たちの生活に溶け込む風土のみどりとの接点で考えたらどうかと思う。5つの基本方針だとバラけた感じがする様に思う。

#### 【3つ以内、3つ程度の基本方針の提案】

- ・1から3つくらいの方が良いのでは。
- ・5つは多すぎると思うので、3つくらいの基本方針にすべき。
- ・3つくらいにまとめた方がわかりやすい。5つは覚えられない。
- ・基本方針は少ない方がわかりやすいと思う。3つ以内が妥当だと思う。
- ・基本方針は3点までにまとめるべき。5点は多すぎてわかりづらい。
  - ・新しいみどりを創るのか、既存のみどりの質を高めるのか、今どちらに重点をおくべきなのかわからないので、短期中長期別の指針策定があるとわかりやすい。
  - ・質を高めるとまちをつなげるとみんなで育てるの違いがよくわからず、言いたいことは1つにまとめられるのではないか。具体的な行動が想像できるような方針にしたほうがよいと思っています。

- ・5つだと中々伝わりにくい部分があったり、また覚えにくい、という事もあると思うので、3つ程度の基本方針にした方が分かり易く、かつ覚え易くなると思います。「守る」、「維持する」、「増やす」の3つ程度が適当だと思います。「守る」は今の緑の量を、宅地開発などから守り減らさないこと。「維持する」は公園や街路樹などの公共の場所にある緑を減らさない事に注力すること。「増やす」は字の如く公園を増やしたりする事によって現状よりも増やすということ。3つ程度の方がシンプルで分かりやすいと思います。
- ・5つの基本方針は万人にとって覚えにくいと思われる。3つ程度にまとめて、誰もが簡単に思い出せるようなフレーズとしてはどうでしょうか。「守ろう、創ろう、つなげよう」くらいが、お子さんから高齢の方でも覚えやすく、意識も出来るのでは。

### 【3つの基本方針の提案】

- ・みどり豊かな町は心豊かな町。みどりを増やして笑顔あふれる街づくり。みどりがいっぱい生きもの(土地の中の虫たち、鳥たちも集まってくるよ)子供も元気いっぱい！です。
- ・区民が基本方針を身近に感じられるよう纏めた方が良いと思います。例えば「みどりの質を高めよう」や「みどりでまちをつなげよう」は具体的なイメージが湧かないと感じています。身近に感じられる言葉を選んだ方が良いですね。
- ・「みんなで身近なみどりを守ろう」「みんなで新しいみどりを創ろう」「みんなでみどりの質を高めよう」
- ・1身近なみどりを守ろう 2新しいみどりを創ろう 3みんなでみどりを育てよう の3つでいいと思います。あとの2つは重複しているように思います。スローガンは短く、解りやすくが基本なので、省略してよい所はカットしてよいように思います。
- ・みどりの質をたかめよう、みどりでまちをつなげようの2つのメッセージ性がよくわからないので、削ってもいいと思います。
- ・数が多いので3つに絞る  
「身近なみどりを守ろう」、「新しいみどりを創ろう」、「みどりの質を高めよう」  
「みどりでまちをつなげよう」、「みんなでみどりを育てよう」  
「みんなで」は上記に暗に含まれる、「まちをつなげる」はイメージしづらい。

### 【4つの基本方針の提案】

- ・「みどりでまちをつなげよう」と「みんなでみどりを育てよう」は「みどり」と「コミュニティ」の観点からまとめられるように感じられました。
- ・みどりでまちをつなげようとみんなでみどりを育てようが方針としては重なっているように思える。近隣住民の共同参加により同一の地域の緑化を目指しつつ、交流のある地域社会を築くことを目指すのも良いのではないかと思います。

### 【その他の提案】

- ・みどりの維持・管理が大変(区で管理されているとはいえ、日常の管理は近隣住民が行っている部分もあるかと思いますが)だと思いますので、「みどりとの共存を考えよう」的な項目も必要ではないかと思いました。

### 【具体的にわかりやすく】

- ・「みどりの質を高めよう」の表現で質とはどういうことなのだろうか？とイメージが湧かなかった。基本方針にするならば、わかりやすいほうが良いと思う。
- ・「みどりでまちをつなげよう」「みどりの質を高めよう」がどんなイメージできなかった。
- ・みどりでまちをつなげよう が見ただけでは内容がよく分かりません。
- ・現計画は悪くはないです。パッと一目で入ってくる、インパクトのありキャッチーな言葉短く、が良いかと思えます。ゆるキャラではないのですがみどりをモチーフに緑をもっと好きになるような・・・はどうでしょうか？
- ・「みどりを守り、育てる」ことで「街と区民が繋がる」ことになるので「みどりを育てよう」になるになるような基本方針はいかがでしょうか？いまのこの標語を見ると多いし言ってることがあまり違いがわからない。
- ・スローガンの基本方針といえど、具体性に欠けているのではないかと。計画に賛同する意識があっても、具体的に自分がどの立場で活動すれば良いのか理解し辛いと感じる。住民として、区内で働く商人として、学生として、などそれぞれの立場でどんなことができるか、提言があった方が明確な意識を持って活動にあたるのではないかと思います。

### 【事業の提案】

- ・区民が自主的に参画するということで、「みんなでみどりを育てよう/守ろう」は良いと思います。行政はそれをサポートすることとして前記の各種の施策と共に、未来を託す子供達に、コンクールとか、夏休みの宿題として、みどりを維持し、増やす課題を与えるのはどうだろうか。
- ・小さな植物のの無料なり安価での配布を区役所等の公共施設で、配布販売に力をいれてみたらいかがでしょうか。

- ・基本方針自体あるのを知らなかったの、私のように知らない区民に対し周知できる機会を増やし、計画的に緑の配置をし、樹木の伐採剪定をきちんとできいなまちづくりができればよいと思う。落ち葉や虫など町の美化にも配慮でき夏は日陰を計画的に作るなど専門家の意見を取り入れながらまちづくりができればよいと思います。ただ今年の夏のような猛暑は緑をふやしたところで温度上昇を抑えられるかというところでもないと思うので、ヒートアイランド現象を防ぐための海風が取り入れられる建物配置・アスファルトを温度上昇を抑える効果のあるものに変えるなど、ほかからのアプローチと平行で行えるとよいと思います。
- ・みどりを大切にすることを通じて、街の景観と地球環境を維持する。そして、そこに住む人々の安全安心と健康を実現していこうという意思表示が必要である。  
みどりを大切にすることは、人々の心とからだを健全にし、つぎの世代につなげる意識を醸成する。それらの思いを短い言葉で表現し、市民に訴えて、行動に移してもらうことが重要。
- ・住みやすい街になったと感じるが、インフラが充実した。しかしながら大きい道路から中へ入ると狭い道路。これは住宅・都市づくりがなされておらず、昔からの河、沼、幹線道路沿いに緑の樹木があった。(東京に出てきて53年。武蔵野)建築計画と公園計画のリンク。高度成長の住宅が細分化されすぎている。公園に整備、緑地保全、公共空地、広場。これに手を付けるべき。
- ・みどりの体験活動を学校や地域で以前のようにもつとすべきとおもいます。この条例がでてからは、環境学習を学校でも行い、子供達の体験的な学びを育めました。ところが総合学習の時間が違う目的でつかうようになり、自然に親しむ授業が取らなくなりました。ぜひ、学校の授業のなか、地域のイベントの中に再度、この取り組みの団体やプログラムをあつかっているひとたちを活用して、大人も子どもも体験活動をふやすことが必要になっているとおもいます。

**問10 みどり豊かな杉並区の実現に向けて、取り組むべき課題やアイデア、その他みどりに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。**

**【公園・区民農園】**

- ・生産緑地の公園転用。
- ・空き家対策を強化して区で買収するなどして、小公園を増やして欲しい。
- ・私の自宅周辺では、ほとんど誰も使っていないような小さな公園がいくつかあります。そこに緑があるのは良い事なのですが、実際使われていない公園というのは、樹木の存在が公園全体を薄暗くしたり怪しい人を隠したりと危険な存在になると思います。緑を増やすことには賛成ではあります。まずは既存の緑の整備に注力して欲しいと思います。農地や屋敷林も、夜近くを歩くと怖いので、若い子育て世代からは懸念されるのではないのでしょうか。勿論利用されてるものは仕方ないですが、放置されてるところはそのまま維持するのではなく積極的に開発されることを希望します。
- ・成宗さくら公園のみどりがメンテナンスしているとは思えないほど、荒れているので、ちゃんと整備してほしいです。
- ・原っぱ公園のような遊具のない公園が増えたら、子供たちが遊ぶ際に自由や想像力を鍛えられていいなと思います。
- ・杉並区はとても緑があり、良い環境だと思います。公園に子供がいますが、緑やアスレチックがある良い緑化への啓発が進むと思います。
- ・緑を増やすことはとても良い取り組みだが、一方で普通に子供が走り回れる公園が減っている。散歩コースとして緑化と進める公園と子供が遊べる公園は分けて計画を進めるべき。一方で、世田谷区と杉並区の境界に住んでいるが、比べると杉並は人気がない。理由として駅周辺が整備されていないという意見を聞く。駅や道路の整備を緑化と合わせて進めて、散歩したくなるような街づくりとめざしてほしい。
- ・自然の木を活かした公園作り＝子供が公園に行くことで自然と触れ合うことができる、杉並区のメインとなり得る公園を作れないでしょうか。  
杉並区には杉並区のランドマーク的なものが少なく感じます。  
少子高齢化である中、少しでも住民を増やし税収を上げるには緑ある豊かな環境を整備してくださればと思います。
- ・緑道を増やしてほしいです。緑広がる空間でゆったりできる公園をつくってほしいです。
- ・杉並区ならではの四季、歳時記を感じられる癒しの場所、世代を超えた交流の場所、日本の良さを受け継ぐ場所が出来たらよいと思います。
- ・柏の宮公園を例にとりますと、武蔵野の雑木林を復元し、多様な生態系を生み出す等、成功事例である一方、近隣で、烏、野良猫、狸等の被害も目につくようになりました。それらを総合的に俯瞰し、掘り所にできる杉並区の施策には、大いに賛同致します。
- ・杉並区のふれあい農園のような場所が増えても、みどり豊かな地域になるかと思っています。
- ・緑を増やすのは大賛成だが、出来れば花粉症の原因になるような種類はやめて欲しいです。子供達も緑が多い、農業公園は好きなので可能なら区内に増やして欲しいです。

- ・ 昨年、板橋区から和田堀公園の近くに越してきました。杉並良いところだと思いました。維持してほしいと思います。  
成田西ふれあい農業公園はもっと大きくなったらいかなとか和田堀公園の野鳥を大切にしたいなとか思っています。
- ・ 農園がもっと増えれば良いしそこで花の育て方や野菜の育て方など子供も大人も楽しめる講座があればもっとみどり豊かな杉並区につながると思います。今現在は人気のため応募しても当選せず、すでに3回連続で落選してしまうから学ぶ機会が減ってしまうのは残念です。あとは公園での木が足りないかなと思います。木は木陰を生み、そこに虫がきたり鳥がとまったり子供が木登りできる木も少なく感じます。
- ・ 区民農園の拡大、川沿いに植林、宅地造成の制限。
- ・ まず、子どもが自然と親しめる公園がもっとあってもいい。景観として緑があるというものよりも、例えば虫取ができたり、植物でなにかを作ったり。また、私も利用させてもらっているが、区民農園をもっと増やしたほうがいい。抽選で補欠になって、ずっと順番を待ってる高齢の女性を知っている。私ももう少しで高齢者になるが、高齢者をもっと楽しませつつ利用したほうがいい。例えば、梅干しの作り方を高齢の女性が若いママに教えるだとか、虫博士みたいな高齢の男性が講義するとか。なんかこういうのって、しょぼい感じになることが多いが、何かしらお徳感やお楽しみ感を出したい。みどりは飾りでなくて、季節感を感じられ、食べられ、楽しめるということ知っている区民を増やすような政策をしてほしい。
- ・ 生産緑地などを借上げ、買取り市民農地として有料でも良いの貸し出す。その際農耕が得意な高齢者などにボランティアで指導いただく。
- ・ 私のような賃貸に住んで土地を持たない者でもレンタル農地など近所があれば、今後の災害などや色々な危機に自給自足までも行かないとも、何か希望が持てるのでは？と思います。そうすると、自然にみどりを育てることを意識していくと思います。例えば、区のレクリエーションで緑を育てるレクチャー教室などがあると参加してみたいです。
- ・ 一人暮らしの20代は、忙しさや場所などの関係で、植物を育てたくてもなかなか難しい環境にあると思います。基本的には毎日管理してくださる方がいらっしゃって、行ける時に水やりができるようなシェアガーデンなどの場を作っていただいたり、栽培以外にプラスアルファで若者同士の交流ができるなど、何か工夫があると良いと思います。

### 【遊歩道や歩道】

- ・ 私の近所の神田川に、昔はたくさんあった桜の木が、今はずいぶん伐採され減りました。古い木なので危険などいろんな理由があつてのことだと思います。その分、小さな桜の木でもいいので植えてくれるとうれしいです。  
杉並区の大通り沿いも場所によってイチヨウの木やハナミズキの木がたくさん植えられ、季節を感じられる場所がたくさんあります。井の頭通りや方南通りはそれが少なく、もっとハナミズキや桜など増えたらうれしいです。
- ・ 身近な点で、神田川沿いの遊歩道にあるツルや雑草がぼうぼうですれ違いくい箇所があるので整えて欲しいです。緑は手入れしないと荒れるので、その点留意お願いします。なお本質問は、杉並区がどのような環境、どの自治体を目標にしているのかわかりませんので答えにくい質問でした。見た目、取り組み、実現したいことなど、具体的な将来像と合わせて問いかけていただくと身のあるアイデアを出せると思います。よろしくお願いします。みどりの基本計画広報頑張ってください。
- ・ 善福寺川、神田川の川沿い遊歩道と並木道を設ける。恵まれた杉並区ではあるが、環状7号、8号道路際に簡易植栽ポットを並べていく。(杉並区に入ったと感ずる)夏には水噴霧をし温度を下げ、植木の管理に充てる(据え置きタイプ)。川、道路、寺、住宅、公園と林、森は昔と変わらない。通る人々が暑さ寒さを感じて過ごせる公園、道路にして欲しいと考える。但し、税金が増えないのに、「みどり」に金を変えけるのはいかがかと思う。(落ち葉を処理)
- ・ 善福寺川さくらの会の方が手入れして下さっている花壇のお花がとても綺麗で散歩するのが気持ちいいです。積極的なボランティア活動の促進を費用助成等含めて進めていただきたいです。また、商業エリアでは、国交省「緑による建物の魅力アップガイド」で紹介されているようなオシャレで素敵な空間を杉並区内のあちこちに増やして欲しいです。杉並区は公立学校も築古ばかりですが、建替えて校舎の屋上やテラスが緑化されたら素晴らしいなあと思います。
- ・ 善福寺川沿いをもっと緑を多くしたら、良いと思う。善福寺緑地や和田堀のように、川沿いの景観をよくしたらいいと思います。
- ・ 桃園川公園の近くに住んでいます。花咲かせ隊の人達がいつも手入れしてくれていて、通るのが楽しみです。植える木を梅やキンカンやゆず等実のなるものにしてほしいと思っています。実がなるまでに植えて何年かかかるでしょうが、季節を感じられて、また、実がなるのが楽しみです。また、庭のある家にそうした木を配布するのも考えてほしいです。6月は梅、冬はゆずと、収穫できると楽しみが増えます。



- ・善福寺川や神田川が杉並区を流れているので、その周辺に桜の木や昔ながらの樹を植樹して、もっといこいの森も増やしてほしい。年々温暖化が進み、熱中症も増えていると思うのでその道の途中で休める場を増やしてほしい。老人も増えると思うのでそこに集まる場があれば一人暮らしのお年寄りの方々も認知症にならないようお互いに友達のように仲良くできればいいですね。
- ・街路樹がちゃんと囲われておらず、ゴミが捨てられたり自転車が乗り入れられたりして荒らされてしまっているところがある(高円寺南4丁目交差点付近など)。せめて養生中のところだけでも囲いを置くなどして樹木の生長を守ってほしい。
- ・中杉通りや新宿区新都心北通りのケヤキ並木を歩くと涼しさを感じるし気持ちが良い。一方、早稲田通りは大木どころか普通の木々も枝が落とされ、とても無味乾燥的だと思う。
- ・近年、放射5号線の街路樹が一気に伐採されました。確かに古い樹木だったので安全の意味でも伐採は仕方がない選択だったのかもしれませんが、春に満開の桜できれいだった風景が殺風景なものに変わってしまいました。「みどり豊かな杉並区」を目指すのであれば放射5号線の伐採跡地にも工夫して頂きたいです。
- ・行政は、屋敷林や公園、公共用地などにある樹木、街路樹などはできるだけそのまま生かすこと、また拡張することを考えてほしい。豊かな緑を壊す阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業のようなことは二度と計画・実行しないこと。
- ・街路樹を増やしてほしい。  
雑草が多すぎて犬のトイレになっているので、道路沿いの植栽の手入れをしてほしい。  
民間の生垣を推進してほしい。
- ・桃井は青梅街道に銀杏を植えています。景観は良いが近隣のマンションに枯葉など入ってくるので当該季節は大変です。特に雨に濡れた葉は清掃が大変です。そまた成長が早く、電線など怖いので、もっと環境に配慮した木々を植えて欲しいです。道路など街路樹もいいと思うが、近隣に住んでいると枯葉などの扱いが大変です。区としても清掃などアフターケアをしてほしい。
- ・私自身、杉並区に引っ越す時の魅力に、緑が多い事を挙げた。  
物凄く多くの車が行き交う道路でありながら、狭い舗道にも年月を経た街路樹が、トンネルの様に猛暑からドライバーたちを包んでくれている。
- ・緑豊かなランニングコースが増えると嬉しい。

#### 【緑の義務化】

- ・何かにつけて補助金を出すような取り組みではなく、緑化に協力してくれる企業・世帯の税負担を軽減するのが良いと思う。  
そもそも、なんのためにみどり豊かな杉並区を目指すのかの目的が伝わっていないような気がするので、まずはそこを補完してはいかがでしょうか？
- ・企業の遊休地を企業が土地所有しながらも、区の財政で緑化を進め、区民が利用できる公園化する。企業には見返りとして税の減免。企業が社会貢献しやすくなる。
- ・自分の先祖もそうですが、かつては庭のある大きな敷地に屋敷を構えていましたが、重くのしかかる相続税に対処する為に、芝生が生え木々が茂る庭を壊しマンションを建設して早30年が経過します。これは杉並区に限った事ではありませんが、少なくとも僕の住む東京を見ていると同様に相続税の為に今まで庭のあるお屋敷が壊され、その敷地に複数の新築の家が建ち、かつかつて庭だったところがほとんどの場合コンクリートで埋め固められているのをよく目の当たりにします。少しでも多くの緑を無くさない為にも、税制が改正されれば個人の持つ緑の減少は多少防げるのでは？と思う。
- ・杉並区は各店舗に自転車を止めるスペースすらないので、新規で緑地を増やすという取り組みはハードルが高いように思います。既存の公園の整備・改修、既存の公共施設や店舗の活用可能スペースを活かしていく施策を進めていくべきと感じました。例えばJR高円寺駅の前のスペースはきれいな印象がまったくないので、そのような場所をまず「きれい」と思ってもらえるように整備や規制を行っていく取り組み、またその積み重ねがあるといいなと思います。
- ・新築物件（戸建て住居、分譲・賃貸マンション、アパート等）の緑化基準を厳しくする。
- ・わたしはみどりに安心感や季節感また、生命を感じます。例えば駅の周りが緑豊かで四季を感じられる井の頭線の景色を見るのが好きです。公園など、既存の緑のある場所ではなく、あまり緑がない場所に咲いているとたくましい緑に感動したりします。今既存の緑がある場所を拡大するより、現状を維持しながらステキな空間を駅やカフェ商店街などでも力を上げて創造していくことがより良い杉並区になるのではないかと思います。読売ランドのコーヒー専門店のような緑を使ったおしゃれな空間が増えたら嬉しいです。  
1. 用地買収して公園緑地を増やす。を実施し、少しずつ4. 屋敷林・農地を開発できないように規制強化する。という策もいいかと思いましたが公園は区民全員が利用する場所ではないので、あえて普段植物にあまり興味がない人でも興味がわくようにと思いを込めて選択いたしました。
- ・建売戸建て住宅は庭がなく緑を植える場所がない。建ぺい率の問題があると思う。住宅開発も含めて緑の問題を考えた方がよいと思う。

- ・先日、中央図書館向かいの宅地開発により立派な木が切られている様を見てせつない気持ちになりました。地権者の権利があるのでなかなか解決策はないのかもしれませんが、区として宅地にあっても既存の樹木を保護する取り組みはできないのでしょうか。特に大田黒公園近くはもともと土地の分割に関する規定も厳しめですから、そのうえ住宅に対する緑化義務を厳しくしてもいいと思いました。
- ・先日も近隣で相応の広さの時間貸し駐車場がオープンしたが、緑は全くない。ある一定の面積に対し緑化を義務付けることは難しいでしょうか？
- ・用地買収や補助金支給には財源が必要。お金がかからない手法を考えることが肝要だと思います。例えば、土地利用時の緑化度を法令で義務化し、達成できない者は代わりに、税金を支払うことで義務を免除する。その税金で用地買収や補助金支給できれば、効果的なシステムになる可能性があると思います。
- ・空き家の所有権について、簡単に変革できることとは思えないが・・・  
空き家になっている使われていない家屋は、更地にして樹木を植えるなどして、住宅街にも木陰や季節を感じることでできる場所を増やす。
- ・商店街も緑を取り入れたほうがいい。

### 【PR】

- ・ともかくPRが弱いと思う。区民への周知を拡大させる。青少年や高齢者が楽しく活動できる機会を促進する。
- ・緑が増えれば、野鳥などの生態も変わってくるので、広報活動などで、緑が増える効果、メリットなどを発信する。
- ・みどりと共に季節に沿った植物や写真映えしそうなスポットを合わせてアピールしていく。  
例 夏→紫陽花・秋→紅葉
- ・杉並区は、みどり豊かな地域の実現に向けて、取り組んでいると評価しています。さらに、その活動を推進するための仕組みづくりをお願いしたい。みどりに関して他の区との比較を通じて、我々の区が如何にすばらしいかを「見える化」してほしい。「それは我々が将来にわたっても残すべき大切なものである」ということを区民全体でコンセンサスをとるようにしてほしい。そして、皆が小さなことでも「みどりを大切にする行動」をとるように働きかけてほしい。みどりの活動は景観のみならず、地球環境問題の解決や災害防止にも通じる。そのつながりについても、市民に分かりやすく説明して、支持を得てほしい。
- ・税金をかけるのか、ボランティアを募るのか、いずれも区民へのアナウンスによる意識向上が不可欠だと感じます。町中や商店街に魅力的なポスターを貼ったり、関心を得られるよう引き続き取り組みをお願いしたいです。
- ・取組が周知されていないと感じる。杉並区の落ち着いた住宅街と緑が豊かな街とは相性がいいと思うためしっかり広報して、まずこの取組を周知すべきであると思う。
- ・杉並区は23区の中でも緑が多く、その点が気に入って長年居住しています。増やすための施策もさることながら、現状の豊かなみどりを維持するための取り組みも、必要ではないかと思います。たとえば環境対策と関連づけて、個人宅でのグリーンカーテンや庭の前栽の推奨のため、みどり（植物）の効果的な育て方の区民講座を開き、講演の後に安価で苗を頒布し、栽培を推奨する。もうひとつは、栽培の様子を、なにがしかのハッシュタグ（#みどり豊かな杉並区、あるいは基本方針の5つの文言をハッシュタグにする等）をつけてSNSで投稿してもらい、それを積極的に区役所の公式アカウントなどでリツイートするといった取り組みを行う。その際、投稿者に地域振興券プレゼントする等の商業的な見返りよりも、みどり豊かな杉並区に居住することの価値を高めていくようなやり方が良いのではなかと考えています。
- ・大きな課題と小さな取り組みを1年～5年計画にし、例えば「今年はA地区をこんな感じに街路樹を植え替えます。この街路樹にはこんな花が咲いて手入れも簡単です」などメリットも周知し、小さな取り組みとしては「B公園にチューリップを植えるのでお手伝いできる方は来てください」など参加型でみんなで育てていけるような取り組みをしてみれば、区の緑に関心も出て、大切に育てていけるのでは？春には桜がここに行けば見頃とか、秋の紅葉はC公園がきれいであるとか。区の中でそういった観光スポット的な緑の増やし方もよいかと思えます。SNSの活用で、緑だけでなく緑が豊かになれば鳥も集まり、目撃情報などもあげていけば、杉並区の自然の豊かさをアピールできるのでは？

- ・ 杉並区は大変好きな町ですが周辺区市と比較してこれと言った特徴がない区だと感じています。これは今後人口減少が懸念される中、区を衰退させない為には大きな懸念事項だと思います。その点で「杉並区みどりの基本計画」をもって緑化事業に積極的な姿勢を杉並区の特徴としてPRすることは区民が杉並区への親近感やロイヤリティを持つことの大きな助けになると思います。そこで「なみすけ」は区内でもしっかりと認知されたマスコットキャラクターですが、そのイメージは杉並区全体をカバーしている印象のため区内外への「杉並区みどりの基本計画」関係情報発信専任隊長としては「なみすけ」と別のキャラクター（例えば「スピト」と「タネタ」等）を選定し、そのキャラクターを中心に新宿駅などの区外ではあるが区民や周辺区市住民の目につきやすい場所で「緑化事業に積極的な杉並区」に関する広報活動（PR 広告掲示、キャンペーン）を行ってはいかがでしょうか。

### 【子ども】

- ・ 区内の小・中高校生への課外活動として木を植えてたりする取り組み。
- ・ 幅広い方たちに認識してもらえよう周知徹底（SNS等で）。
- ・ 未来を託す子供達に、コンクールとか、夏休みの宿題として、みどりを維持し、増やす課題を与えるのはどうだろうか。
- ・ 中高年者や高齢者は、比較的地元の「みどり豊かなまちづくり」に関心があると思いますが、今後の杉並区を支える若年層（特に小中学生）に「みどり豊かなまちづくり」の大切さについて、そのねらいと効果を理解してもらうために、学校の社会科の時間などを利用した啓発、啓蒙活動の実施を検討されては如何でしょうか。（もし既に実践されているようであれば、ご放棄下さい。）
- ・ 小学生くらいから草むしり、落ち葉掃きなどを課外授業で経験させてみる。
- ・ 公園の一角に苗木を植えて育てているのを見かけますが、どのように育てて、その先どうするのか見られる機会があるといいなと思います。
- ・ 川沿いを自転車で走っていると季節を感じられる並木があって、通るたびにホッとしています。公共施設や駅、大通りなど人が多く集まる場所の一角にも季節を感じられる植物があるといいなと思います。
- ・ 季節の花市のような、花まつりのような催しをする。
- ・ ベランダ菜園のやり方・コツなど講座があればぜひ参加したいです。
- ・ 夏は公園も暑く子供が行きたがりません。夏も外で緑の中で思いっきり遊んでほしいので、公園にミストが出る場所があるといいなと思います。ずっとそこに居てしまう懸念もありますが。
- ・ 杉並区古来の在来種植物のとはどんなものなのだろうか、小学校などで教えているのだろうか。京王やJR 地域のスーパーなどと連携し皆に知ってもらい、育ててもらおうようなイベントを、企画できないだろうか。都会の割には河川や公園に恵まれた環境の杉並、犬のフンの始末や不審者撲滅など市民同士で守れることも多いと感じている。
- ・ 小学生、幼稚園児を中心に緑に馴染んでもらうため、区内の公園等での授業などの活動を増やす。緑の少ない区とか隣接の区、市等とも連携して授業等の活動を促進する。公園でのキャンプ、昆虫観察などの活動を推進する。
- ・ 東京都区内の中では、杉並区はもともと緑が多い方だと思われるので、まずは「身近なみどりを守り」、さらに「新しいみどりを創り」、それらの「みどりの質を高め」て、「みどりでまちをつなげ」ていくことで、緑のまち杉並区はより豊かなまちとなっていくと思われそうです。「みんなでみどりを育て」ていく気持ちを皆で共有できるよう、もっと区民に働きかけていく必要があると思います。
- ・ 現在あるみどりをこれまで以上に活かしていくことで、初心に立ち帰ってみどり豊かにしてするためのベースが出来上がっていくのではないかと。
- ・ みどりの重要性は誰もが理解していることと思いますが、誰もが目の前に木を植えたいと思っているわけではないと思います。今後はみどりとどうやって一緒に暮らしていくのか、という部分にも力を入れていく必要があるのではないかと思います。
- ・ 真夏等は自宅の周りの樹木に水やりをする等区民一同地域の緑化を心がける。
- ・ 公園に行くとボランティアの方が活動されてるのを見る。もっと保育園や、幼稚園、小学生と関わりを持って子どもにみどりのお手伝いをしてもらってもいいと思う。
- ・ 私の住むまわりはお寺が多く毎日通る道のお寺に沢山の杉の木をはじめすばらしい日本画のような緑の四季を見られます。
- ・ 割と公園やみどりが多いので減らさないでくれたらうれしい。
- ・ 我が家は、プランターでコンポストをしている。コーヒーがらやお米の糠を時々混ぜて、みみずが成長することを楽しみ、それを使って、野菜を育てる土に利用している。多くは収穫ができないが、野菜の花はどんな花か？実はどうやって大きくなるか？水やりをしたり、お世話する大切さも経験できます。みんなでコンポストを積極的に取り入れて、土を作り、鳥や虫が集まる花木を植樹をして、循環型の環境をつくる必要があると思う。学校の給食ででた、野菜類も、本当は学校に大きなコンポストがあるとよいと思う。

- ・ 除草剤がホームセンター等で販売されている。その主成分であるグリホサートは発がん性分類上上から2番目に分類されている。適正に使用されれば、安全となっているが・・・裏を返せば危険性大。杉並区での販売・使用は、禁止したほうが良い。ただし、酸を使った害がないものは使用可。
- ・ 平成29年度杉並区みどりの実態調査を読んだところすでに様々な取り組みをしているのが分かった。公園などを新たに造るのが一番良いが、簡単にはいかないと思う。可能性があるのは、みどりのカーテン、特に公共施設には必ずやるように。また、五日市街道のガードレールを改修したが、プランターをハンギングするスペースがあるので、そのような場所の利用。管理という問題があるが、地元民との共同作業も考えて進める。また、マンションが増加しているが、ほとんどのベランダが無機質水道の蛇口がないこともあり、設置の義務付け・・・草花を育てている方向へ。みどりは食料との関係性が非常に深い。野菜、果物、肉等ほとんどのものは、みどり（植物）から作られている。スーパーで売られている食品からは一見想像もつかないが人間の生命の源ともいえる。みどりの大切さをこどもたちから感じてもらうようにもっと取り組んでもらいたい。都立農芸高校、屋敷林、生産農家等の活用。
- ・ 売主より初めて「杉並区みどりの条例」の存在を聞き、そういう目線で区内の住宅を眺めたら、確かにどの家にも必ず何らかの緑があると気づきました。とても良い取り組みだなと思います。この計画・条例のことはこのアンケート回答をしている今も詳細を知らないのですが、アンケート内に「屋敷林・農地を守る取組としてもっとも効果があるもの」を尋ねられた中で「補助金を出す」「ボランティアの支援」などの選択肢があったように、かなり大きい木になっている屋敷林も周辺にあります。家主は管理しておらず、また、その世話も難しいのかもしれない。ボランティアが町内をまわって、「この木少し剪定しますよ」なんて声がけをしていくサービスがあると、景観を守る意識も高まり、かつ生存確認などできるのでは？と思いました。
- ・ 方南や和泉には古くからの屋敷林が残っている御宅や寺社が何軒かありますが、落ち葉や立ち枯等の管理が個人だけでは難しいのではと感じます。また、通学路に屋敷林が隣り合っている所では、暗がりや街灯の少なさもあって不安を感じる部分もあります。立正佼成会の大聖堂の南側の歩道にバス停がありますが、付近の歩道はレンガ敷になっています。付近の歩道や大聖堂側の樹木の成長によって、根が大きく盛り上がり歩道波打ってしまっています。付近にはお年寄りも多く、補修をお願いしたいと思います。
- ・ 落ち葉・雑草・枝の処分用としてビン・カンのかごのような専用回収BOXを配布する。地域別に同じ花や同じ色の植物を育てる取り組みで統一感のある景観にする。

#### 【フェアなどの取組】

- ・ 植木を買いたくなるようなフェアなどしてほしいです。
- ・ よくイベントで（花まつりのお寺などで）種を頂くのですが、上手く育てられないので、学校や公園に寄付させて頂ければ、と思います。フードバンクならぬ、グリーンバンクみたいなものがあればいいなあと思います。
- ・ 草花を育てていると「種」が余るほどたまってきます。そんな種を持ち寄り交換したり、希望する人に差し上げたりするコーナーが区役所の一部にあれば緑に対して興味を持ったりする人が増えると思います。
- ・ 姉妹都市にちなみみどり創り、苗・球根・種などの配布、花の里親など。
- ・ 道路や学校、駅近辺、さらには大型ごみ収集場などに、植木鉢の花などを差し上げて、皆さんの自然に対する興味を引き出せるように予算の範囲で行っていただくことを願っております。携帯ばかりを見て歩いている方々に、まずは綺麗な花の力を借りて、自然に少しでも興味を持っていただけるように、願っております。
- ・ きっかけ作りに水だけいい、虫の湧きづらい、など手のあまりかからない育てやすい観葉植物・多肉植物の広報活動など。
- ・ 誰でも取り組めるハードルの低いものを提案できるとよいと思います。
- ・ イギリスなどでおなじみの、個人宅の庭の美しさを競う「オープンガーデン」のコンテストを開催してはどうか。
- ・ もっと住民に杉並区の取り組みを広報して市民参加型のイベントを増やしてはいかがでしょうか？例えば地域企業との連携、学校と連携し児童、生徒、家庭の参画の推進。

#### 【緑の保全】

- ・ 資源として落ち葉、木の枝の再利用は考えていく必要があると思う。
- ・ 施肥、散水、剪定の労力あるいは費用を補助すべきである。
- ・ 杉並区90周年を迎えるに当り、明るい街づくり、緑化運動を望みます。
- ・ 次世代に負の財産を作らないようにみどり量をふやそう。
- ・ 学校などに木を植えたらいいと思う。
- ・ 公共施設や区民の憩いの場に、緑を増やす仕組みがあると、杉並区の緑に対する印象が深まると思う。

- ・ 色々な形で公園緑地などを増やしていく過程で、雑草の繁茂をいかに防いでいくか、又、民有地の敷地内の大木の管理の新たな助成制度の促進の検討が必要。
- ・ 農園に囲まれ、公園も多く、外で散歩する機会が増えました。都会ではありながら居住区としても素晴らしく、高井戸に引っ越してきてよかったですと感じます。今後も緑が守られていくと良いと感じます。
- ・ 今あるみどりはこれ以上減らさないでほしい。公園や学校などの公共施設への植樹や駐車スペース、屋上の緑化を行ってほしい。また、個人向けに道路沿いの危険なブロック塀などを撤去し、生け垣にする人への助成や地域やマンションなどに苗木を支給し、手入れを行ってもらうなどして、プラスアルファになるような取り組みも行ってみてほしい。みどりは育てていく、続けていかなければ意味がないので、選定など生育に必要なことを学べる機会があればよいと思う。
- ・ 緑化に協力してくれる住宅や、ブロック塀ではなく生垣を作る場合は補助金を出す。植木の手入れにお金がかかり、木を伐採する家が増えてきている。花や木を植えている庭を紹介し、花等の良さをわかってもらう。草花の種を無料配布し、それを自宅の庭、学校等の公共施設に各自で植えてもらう。
- ・ 公園の緑や街路樹が少ないと感じます。補助金が出れば緑化したいという人は多いと思います。我が家の場合、ブロック塀を撤去し、植物でおおいを作りたいですが、高額でなかなか手が出ません。我が家の前の道は小・中学校の通学路にもなっており、ブロック塀はできることなら撤去したいと思っています。補助金の範囲を緑化を条件にここまで広げていただけたら、とても助かりますし、ブロック塀を撤去するかも増えると思います。
- ・ みどりがなければ、人は生きていけない。みどりは人が生きていく源。この基本を日々実感するためにみどりが大事なことは、基本計画でよく理解できた。現代のこどもは知識や情報が先行し、リアルな体験が不足して行動力が伴わないという課題がある。雨上がりの匂い、森を通る風や捕まえた蛇の感触、たき火の音や大粒の雨全身で感じながら木登りに挑戦したり、生き物を探しに行ったり一こした五感を通した心を揺さぶられるリアルな体験と試行錯誤をくり返していくことこそが、こどもの未来の行動の原動力になると思う。そのためにみどり増やしてほしい。そのためには、屋敷林等を区が買い上げ、こどもの体験の場としての活用を計られることを望みます。  
杉並区らしい景観を形成していた立派なお屋敷や農地が、不動産デベロッパーにより味気ないローコスト住宅へ次々に変えられている現状を大変残念に思います。景観維持やヒートアイランド現象緩和の観点からも、屋敷林や農地を守る取り組みを進めていただきたいです。ただ、宅地の減少に伴い住宅価格が高騰している昨今において屋敷林や農地のような大規模な敷地は貴重であるので、緑地を一部残して宅地化するよう民間事業者に促せないでしょうか（例えば、風致地区指定して樹林の伐採に制限をかけるなど）。子育て世帯を対象とした集合住宅の中に共同で栽培できるような畑として農地を一部残したり、屋敷林の中に保育園を作ったりと若い世代を呼び込めるような取り組みを官民連携で進めるのはいかがでしょうか。
- ・ 区内での核となる医療機関（これに係る救急車の搬入経路及び駐車場・駐輪場等々）の整備の重要性はわかるが、樹木の伐採の行なわれている現状からすると緑への配慮がもっとあって良かったのではないかな。
- ・ 杉並区内の土地面積に限られる中、さらに緑地面積を増やしていくことは難しいと思います。したがって、今ある緑地面積をこれ以上減らさない取組や現在の公園等公共施設の緑地部分を増やす。また、老若男女が集いやすい環境整備に力を入れていくことが大切だと考えます。また、犬などのペットが利用しやすい緑地や公園作りもこれから必要だと思います。
- ・ 幼稚園や小学校、図書館など公共施設で緑地を増やす際に、助成金などをだす。
- ・ 個人で所有する緑の保全育成に向け、行政の手厚い助成や制度の施行。区として何が区民にとって重要施策であるか判断する中で、みどりにプライオリティー（優先順位）を付し、予算の位置付けをしてほしい。
- ・ 以前、世田谷では道路沿いのプランターガーデニングに対し何か補助金が出ていると聞いたような記憶があります。住宅街の狭い通りも手入れした草花があれば防犯にも役立つようですし雰囲気も良くなると思います。何か基準を作って補助金を出して下されば有り難いです。
- ・ 効果的な樹木の伐採・剪定を積極的に進めてほしい。
- ・ 住宅地では緑地化が進んでいてコロナ期にみどりが周りにあり大変助けられたと思っている。一方駅周辺には緑がまったくなく緑地改善の方がより魅力的な街になると思う。先進的な取り組みをしているシンガポールのグリーンプラン2030や港区のアーバングリーンの計画は参考にすべき内容。
- ・ サンフランシスコの「Friends of the Urban Forest」のような地域住民による取り組みが出来ると素晴らしいと思います。
- ・ 緑を増やすのは良いが、スギはこれ以上増やさないでほしい。家族、私自身もスギ花粉症で、毎年症状が悪化しているため。銀杏は、下に落ちたものが踏まれ、秋は悪臭があり、銀杏並木を歩くのは憂鬱になる。銀杏を落ちない様ネットをつけるなどし、銀杏を加工して販売するなどしてはどうか。

- ・ 緑は今のままで十分に思いますので、緑に対し区の財政を使うのではなく、高齢者や障害者の方への支援に回すべきと思います。  
子育て支援は十分に思いますので、子育てに区の税金をまわすのも反対です。
- ・ みどりを増やすのに伴いカラスなどの生き物への対応も必要と思います。
- ・ みどりは増やして欲しいですが、害虫特にハチなどの対策は十分に考えていただきたいです。
- ・ みどり豊かな杉並の実現もいいのですが、まだまだ歩きたばこの方がいらっしゃったり吸殻を無造作に捨てられていてお掃除に大変な思いもしております。スペースがなかなかないので喫煙場所を設置していただければ嬉しい。(JR荻窪西口あたり)  
そしてみどり豊かな喫煙場所を利用していただきたいと思ったりします。清潔感あふれる、きれいな町並みで緑を育ててもらいたい。
- ・ 体験活動や、緑の体験車をもっとふやし、それなりの活動貸しやすい状況を構築していただきたいと思います。
- ・ 目隠しになってしまうような木の生い茂り方は、防犯上危険だと思うので、どこにでも緑を増やせばいいということではないと思います。
- ・ 「杉並区の豊かな緑」というイメージがみなに共有できるような、取り組みを重ねていく必要があると考えます。例えば、杉並区の「駅」を緑豊かにする等、シンボリックな緑の増やし方、充実のさせ方がいいかなと思います。
- ・ 杉並区の「企業・営業所」に緑を豊かにする取り組みを推進してもらい、その企業に対して、補助金もしくは減税等々で、インセンティブを与え、杉並に拠点を置くこと・そして緑を豊かにする取り組みをすることへのメリットを整備する形がいいと思います。(公園、学校などは、既に緑豊かに整備されていると思います。また、区がすべての施策を主導していくのは現実的ではないので、区にいる人々が自ら進めていけるような施策を整備するのがよいと思います。)

令和4年度第2回  
杉並区区政モニターアンケート  
集計結果報告書

登録印刷物番号

04-0035(2)

令和4年11月発行

編集・発行

杉並区総務部区政相談課  
〒166-8570  
杉並区阿佐谷南1-15-1

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/koho/kocho/1012817.html>